

何故か上海？ やはり上海！～2014年の実勢を見る

岡山県上海事務所 担当 岡野涼子

(日中経済貿易センター上海事務所)

外資系企業のパフォーマンスが高い上海

2015年5月、上海市政府当局は「世界的に影響力を及ぼす科学技術イノベーション機能を速やかに構築するための意見」を公表。上海が外資系企業を誘致するにあたっては、引き続きR&D事業、安全性の高い新技術を活用した事業、環境に優しい製品とその製造事業に重点を置くことを示唆した。

一方、最近上海へ進出した日本企業の事例には、大手化合繊メーカー、重機メーカー、エンジニアリング会社などによる研究開発技術や工業用水循環技術の移転、高耐熱性樹脂などの新素材加工及び汚染削減化技術を応用した金属加工事業などがある。

年間貿易総額の約65%、税収と雇用創出面でそれぞれ約30%のウエイトを占めるなど、外資系企業のパフォーマンスが依然として高い都市“上海”。改めて上海の都市実勢を、上海市外国投資促進センターの情報を基に見てみたい。

外資導入実績の概況

外資導入が盛んな上海には、外資系企業の本部機能が集中。2014年に上海が導入した外資総額は実行ベースで約182億米ドル（うち、製造業約17億米ドル、サービス業約164億米ドル）と、15年連続して増加。2014年末段階で外資導入累積件数7.63万件、総額約1,691億米ドルに達しており、金額面で全国の約10%のシェアを占めている。

一方、2014年には多国籍企業の地域本部45社、R&D事業会社15社が新しく開業。このことにより、2014年末の段階で上海に立地した多国籍企業地域本部が計490社、R&D事業会社が計381社となった。

産業構造：高まる第三次産業のシェア

第一次産業、第二次産業、第三次産業のシェアが、それぞれ0.53%、34.65%、64.82%と、2014年は第三次産業のシェアが更に高まった。

貿易：年間総額で香港、シンガポールを越える

2014年の上海の対外貿易総額は1兆1,413億米ドルに達した。これは全国の約25%のシェアを占めており、金額面では香港、シンガポールを越えている。また港湾でのコンテナ荷捌量が2年連続で世界一となった。

サービス貿易

2014年は、全国の約三分の一を占める1,753億米ドルに達した。

展示会・博覧会事業

開催面積が1,279万平米に達し、規模において世界トップレベルになった。

交通インフラ

虹橋、浦東の両空港とも世界各地へ空路を開設。国内外95の航空会社が、国内外226都市へ定期便を就航させている。陸路では上海駅、虹橋駅、上海西駅、上海南駅の四大駅を整備し、全国各地へと鉄道網を巡らせている。また、地下鉄路線15本が総営業距離548.44kmに延長され、市街地と郊外を結んでいる。

金融サービス

各種金融機関が計1,336ヶ所、うち外資系金融機関216行が営業を行っているほか、外資系金融機関代表事務所が190ヶ所ある。また、上海証券取引所、上海先物商品取引所、金取引所、外貨取引センター、中国人民銀行上海総本部は

じめ数多くの商業銀行本部が上海で営業を行っている。

医療施設

市内に大小 4,987 ヶ所の医療施設があり、医療従事者は 16 万人を超える。外国との合弁あるいは提携関係を持つ医療施設は、18 か所ある。

(2016 年 2 月)